



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月5日

上場会社名 日本郵船株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 9101 URL <https://www.nyk.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長澤 仁志
 問合せ先責任者 (役職名) IRグループ長 (氏名) 下村 修一郎 TEL 03-3284-5151
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト及び機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	361,170	△11.1	8,947	63.6	16,591	158.6	11,684	27.8
2020年3月期第1四半期	406,402	△12.6	5,470	—	6,415	—	9,141	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 6,937百万円（-％） 2020年3月期第1四半期 △1,900百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	69.21	—
2020年3月期第1四半期	54.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,882,678	502,347	24.7
2020年3月期	1,933,264	498,839	23.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 465,537百万円 2020年3月期 462,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	706,000	△14.4	0	—	12,000	△25.1	9,500	△14.6	56.27
通期	1,450,000	△13.1	13,000	△66.4	20,000	△55.0	13,500	△56.6	79.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	170,055,098株	2020年3月期	170,055,098株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,207,680株	2020年3月期	1,224,721株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	168,834,589株	2020年3月期1Q	168,757,257株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提：

為替レート

（第2四半期・第3四半期・第4四半期連結会計期間）105.00円/US\$

（通期）105.69円/US\$

燃料油価格 ※

（第2四半期連結会計期間）US\$330.00/MT

（第3四半期連結会計期間）US\$398.00/MT

（第4四半期連結会計期間）US\$447.00/MT

（通期）US\$406.96/MT

※ 適合油を含む全油種平均消費燃料油価格を基に算出

本業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2～6ページを参照してください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は2020年8月5日にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。同説明会の音声や資料等につきましては、速やかに当社ウェブサイト (<https://www.nyk.com/ir/library/result>) に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	11
3. その他の情報	12
(1) 四半期毎の業績の推移	12
(2) 為替情報	12
(3) 有利子負債残高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

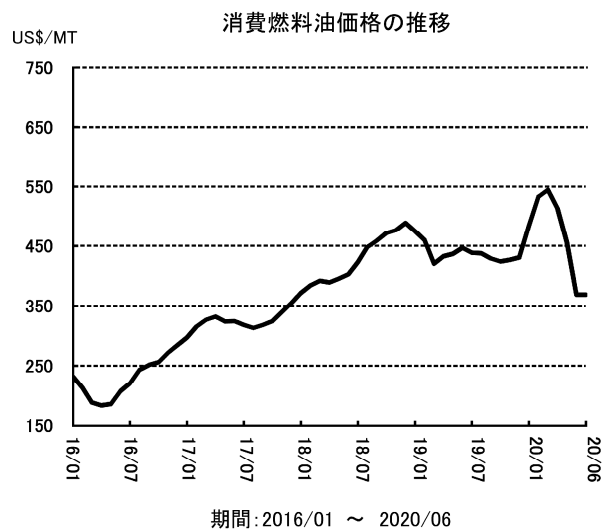
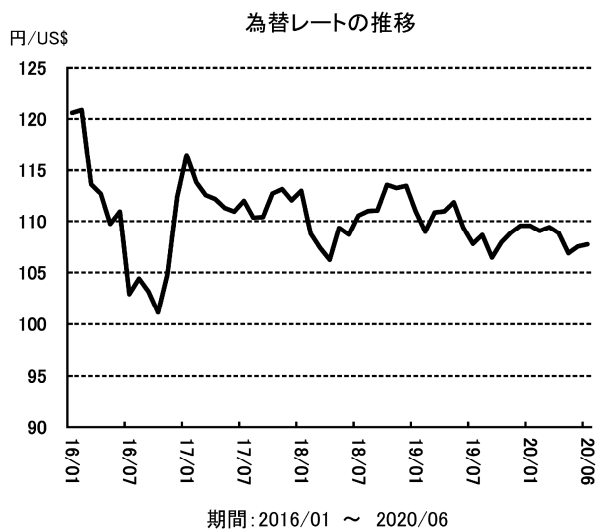
(単位:億円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	4,064	3,611	△452	△11.1%
営業利益	54	89	34	63.6%
経常利益	64	165	101	158.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	91	116	25	27.8%

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日までの3ヶ月間)の業績は、連結売上高3,611億円(前年同期比452億円減)、営業利益89億円(前年同期比34億円増)、経常利益165億円(前年同期比101億円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益116億円(前年同期比25億円増)となり業績は大きく改善しました。

当第1四半期連結累計期間の為替レートと消費燃料油価格の変動は以下のとおりです。

	前第1四半期 (3ヶ月)	当第1四半期 (3ヶ月)	差額
平均為替レート	110.73円/US\$	107.74円/US\$	2.99円 円高
平均消費燃料油価格	US\$438.21/MT	US\$452.83/MT	US\$14.62 高



(注) 為替レート・消費燃料油価格とも、当社社内値です。

（セグメント別概況）

当第1四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下のとおりです。

（単位：億円）

		売上高				経常利益		
		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額
一般貨物輸送事業	定期船事業	519	391	△127	△24.6%	19	67	47
	航空運送事業	177	288	111	62.8%	△44	93	138
	物流事業	1,177	1,129	△48	△4.1%	△0	27	27
不定期専用船事業		1,951	1,648	△302	△15.5%	92	△11	△103
その他事業	不動産業	18	17	△0	△4.8%	7	7	△0
	その他の事業	397	273	△123	△31.0%	7	△4	△12

＜定期船事業＞

コンテナ船部門では、OCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD.（“ONE社”）は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による全世界的な荷量の減少を受け、機動的な減便を行った結果、前年同期比で全体では10%以上の積高減少となりましたが、消席率・運賃率は順調に推移しました。主要航路である北米・欧州航路では、前年同期比で積高は下回りましたが、消席率・運賃率は前年同期を上回る水準で推移し、収支は大幅に良化しました。費用面では、燃料費の減少に加えて、傭船の返船や変動費の削減への取り組みも収支改善に寄与しました。

国内及び海外ターミナルではともに取扱高が減少し、前年同期比減益となりました。

以上の結果、定期船事業全体では前年同期比減収となりましたが、業績は大幅に改善し増益となりました。

＜航空運送事業＞

航空運送事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、マーケットにおける航空貨物の荷動きが減少しましたが、国際旅客便が相次いで運休・減便されたことにより、運賃単価が大幅に上昇しました。費用面ではジェット燃料価格が低水準で推移したため、変動費が大きく減少しました。Personal Protective Equipment（感染症対策のための保護防具の総称）等の緊急輸送物資の需要を取り込んだ結果、前年同期比で大幅な増収となり、利益を計上しました。

＜物流事業＞

航空貨物取扱事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け取扱量は減少するも、国際旅客便の大幅減便により供給は逼迫し市況は改善しました。

海上貨物取扱事業も同様の影響を受け、取扱量は大幅に減少しました。ロジスティクス事業は荷動きが鈍化したものの、一部地域で回復基調に入りました。

内航輸送事業は新設航路における取扱量が減少し収支を圧迫しました。以上の結果、物流事業全体では前年同期比減収となり、利益を計上しました。

<不定期専用船事業>

自動車輸送部門では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅に輸送台数が減少したため、老齢船解撤などによる運航規模の縮小や航路合理化を進め、運航費の削減に努めました。

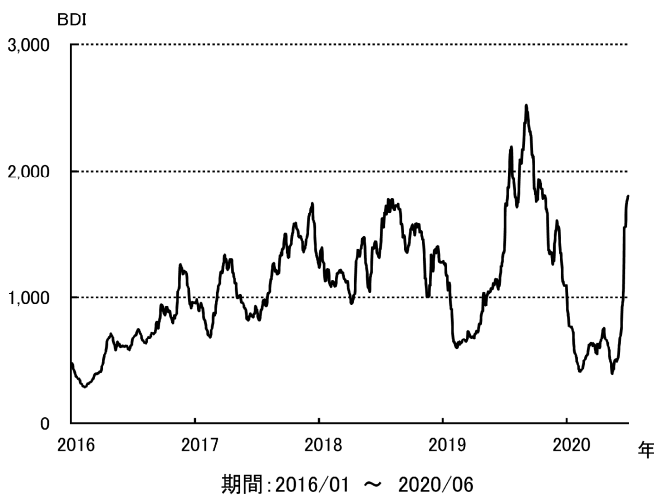
自動車物流も取扱台数が減少する中で、中国・ロシア・インドをはじめとして各国でコスト削減や一部の事業合理化を進めるとともに、ポートフォリオ再編に向けたトルコ・エジプトでの新規ターミナル事業の立ち上げを推進しました。

ドライバルク輸送部門では、一足早く経済活動再開に踏み切った中国向けの鉄鉱石、石炭、大豆の荷動きは好調だったものの、市況への影響度が大きいブラジル出しの鉄鉱石の出荷が雨期の影響が長引いたため低迷しました。ようやく6月に入り回復するとケープサイズの市況は急回復し、パナマックスの市況も好影響を受けましたが、回復前の低迷が影響し市況水準は前年同期を下回りました。このような環境の下、引き続き長期契約の獲得に努めるとともに、効率的な運航の徹底をはじめとしたコスト削減、収支の安定化に取り組みました。

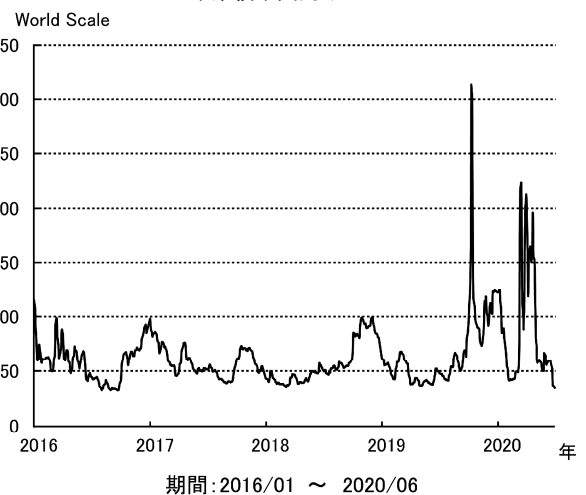
エネルギー輸送部門では、新型コロナウイルス感染症拡大によるエネルギー需要の後退を受け、4月上旬には主要産油国において協調減産が合意されたことにより、市況は非常に不安定な動きとなりました。4月は貯蔵目的での船腹需要が高まり、VLCC（大型タンカー）と石油製品タンカーの市況は大きく上昇しましたが、減産と需要後退の影響を受け、次第に沈静化しました。LPG船は米国出しアジア向けの荷動きが低迷し船腹需給が緩んだ結果、市況が弱含みました。LNG船は安定的な収益を生む長期契約に支えられて順調に推移し、また海洋事業はFPSO（浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備）、ドリルシップが順調に稼働しました。

以上の結果、不定期専用船事業全体で前年同期比減収となり、損失を計上しました。

不定期船市況 BDI の推移



タンカー運賃の推移
中東積中国向け VLCC



<不動産業、その他の事業>

不動産業は堅調に推移し、売上高、経常利益ともにほぼ前年同期並みとなりました。その他の事業は、燃料油の販売が好調であった一方、工事案件延期等により技術サービス業が振るわなかったことや船用資材の販売減などにより前年同期比で減収となり、損失を計上しました。客船事業では新型コロナウイルス感染症の予防措置として第1四半期のクルーズを不催行としたため、前年同期比で損失を計上しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び営業未収金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ505億円減少し、1兆8,826億円となりました。負債合計額は、支払手形及び営業未払金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて540億円減少し、1兆3,803億円となりました。有利子負債についても、同様に130億円減少し、1兆367億円となりました。純資産の部では、利益剰余金が83億円増加し、株主資本とその他の包括利益累計額の合計である自己資本が4,655億円となり、これに非支配株主持分368億円を加えた純資産の合計は5,023億円となりました。これらにより、有利子負債自己資本比率(D/Eレシオ)は2.23となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①連結業績予想

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響やその収束時期は依然として不透明ですが、第1四半期の各事業セグメント実績を踏まえ、各国の同感染症拡大に対する抑制措置や経済政策の動向、各事業特性に応じた現時点で織り込める要素を加味して業績見通しを策定しました。経済活動の水準は今後緩やかに回復することを想定していますが、新型コロナウイルス感染症との共存を前提としています。

定期船事業では、ONE社は引き続き荷動きの変化に応じた船腹調整を柔軟且つ機動的に行い、アライアンスを通じた減便等による固定費削減やコストコントロールも推進します。国内及び海外ターミナルの取扱高は緩やかに回復していく見込みです。航空運送事業は国際旅客便の再開状況による影響を受けませんが、引き続き堅調な貨物航空機の需要を見込んでいます。物流事業は海上、航空貨物取扱事業ともに依然として取扱量回復の動向は不透明です。自動車輸送部門は、取扱台数の緩やかな回復を見込みますが、その度合いは航路によって様々であることを想定しており、柔軟な配船と運航により輸送効率の最大化を図ります。ドライバルク輸送部門は第1四半期後半から市況の回復が見られましたが、通年では船型により上下はありながらも期初想定並みの市況を見込んでいます。エネルギー輸送部門では通年でVLCCの市況は良化、LPG船は想定通りを見込んでいます。部門全体では長期安定契約を主としており、ほぼ期初時点の想定通りに推移する見込みです。不動産業では、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は限定的です。その他の事業では、客船事業は現時点で9月下旬出発予定のクルーズまで催行の中止を決定しており、それ以降の再開見通しは今後も慎重な検討を継続します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に外国人の往来制限が各国で実施されていることから、船員の配乗交代に支障が生じています。当社は、船員の安全と健康を第一とし、万全の対策を講じ円滑な物流ルートを確保すべく、交代に関わる追加的な費用を見積もり、今回の予測に織り込んでいます。

以上に鑑み、第2四半期連結累計期間と通期の業績予想を以下のとおり見直しました。

(単位：億円)

		前回予想 2020年5月25日	今回予想	増減額	増減率
第2四半期 連結累計期間	売上高	-	7,060	-	-
	営業利益	-	0	-	-
	経常利益	-	120	-	-
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	-	95	-	-

通期	売上高	14,300	14,500	200	1.4%
	営業利益	50	130	80	160.0%
	経常利益	0	200	200	-
	親会社株主に帰属 する当期純利益	未定	135	-	-

業績予想の前提：

為替レート

(第2四半期・第3四半期・第4四半期連結会計期間) 105.00円/US\$

(通期) 105.69円/US\$

燃料油価格 ※

(第2四半期連結会計期間) US\$330.00/MT

(第3四半期連結会計期間) US\$398.00/MT

(第4四半期連結会計期間) US\$447.00/MT

(通期) US\$406.96/MT

※ 適合油を含む全油種平均消費燃料油価格を基に算出

②配当予想

当社は、株主の皆様への安定的な利益還元を経営上の最重要課題の一つとして位置付け、連結配当性向25%を目安とし、業績の見通し等を総合的に勘案し利益配分を決定しています。合わせて、業績の変動に左右されない最低限の配当を継続することを基本とし、1株当たり年間20円を当面の下限金額としています。この基本方針に基づき、当事業年度(2021年3月期)は現時点で年間配当金20円を予想しています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	81,861	83,612
受取手形及び営業未収入金	191,813	172,830
有価証券	134	134
たな卸資産	32,532	27,146
繰延及び前払費用	61,162	48,347
その他	77,091	81,535
貸倒引当金	△2,173	△1,930
流動資産合計	442,421	411,677
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	603,317	587,947
建物及び構築物(純額)	107,643	106,625
航空機(純額)	38,023	37,550
機械装置及び運搬具(純額)	28,856	28,118
器具及び備品(純額)	5,145	5,279
土地	83,504	83,300
建設仮勘定	44,903	42,784
その他(純額)	4,935	4,510
有形固定資産合計	916,329	896,116
無形固定資産		
借地権	4,926	4,865
ソフトウェア	5,915	5,683
のれん	11,055	10,634
その他	3,670	3,660
無形固定資産合計	25,568	24,843
投資その他の資産		
投資有価証券	449,267	449,102
長期貸付金	11,876	12,338
退職給付に係る資産	41,430	41,597
繰延税金資産	4,910	4,983
その他	46,694	47,444
貸倒引当金	△5,567	△5,733
投資その他の資産合計	548,611	549,731
固定資産合計	1,490,509	1,470,692
繰延資産	333	309
資産合計	1,933,264	1,882,678

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	137,911	117,105
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
短期借入金	162,675	116,237
コマーシャル・ペーパー	19,000	3,000
リース債務	18,740	18,181
未払法人税等	5,340	3,601
前受金	39,349	26,417
賞与引当金	9,360	9,182
役員賞与引当金	310	215
株式給付引当金	—	56
事業再編関連引当金	20	20
その他	60,906	60,130
流動負債合計	473,615	374,148
固定負債		
社債	132,000	132,000
長期借入金	616,234	668,688
リース債務	81,203	78,651
繰延税金負債	44,632	46,025
退職給付に係る負債	15,920	16,884
役員退職慰労引当金	1,067	851
株式給付引当金	285	345
特別修繕引当金	18,536	18,800
契約損失引当金	23,078	21,135
事業再編関連引当金	1,001	954
債務保証損失引当金	224	—
その他	26,624	21,843
固定負債合計	960,809	1,006,182
負債合計	1,434,424	1,380,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	144,319	144,319
資本剰余金	45,737	45,737
利益剰余金	311,892	320,232
自己株式	△3,429	△3,398
株主資本合計	498,520	506,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,474	10,856
繰延ヘッジ損益	△27,752	△31,624
為替換算調整勘定	△18,966	△21,324
退職給付に係る調整累計額	1,388	739
その他の包括利益累計額合計	△35,856	△41,353
非支配株主持分	36,175	36,809
純資産合計	498,839	502,347
負債純資産合計	1,933,264	1,882,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	406,402	361,170
売上原価	358,433	313,371
売上総利益	47,968	47,798
販売費及び一般管理費	42,498	38,850
営業利益	5,470	8,947
営業外収益		
受取利息	885	605
受取配当金	2,849	2,508
持分法による投資利益	6,092	9,492
その他	841	1,964
営業外収益合計	10,669	14,570
営業外費用		
支払利息	7,197	4,948
為替差損	1,124	584
その他	1,401	1,394
営業外費用合計	9,723	6,926
経常利益	6,415	16,591
特別利益		
固定資産売却益	7,387	2,885
その他	185	2,528
特別利益合計	7,572	5,414
特別損失		
固定資産売却損	31	2
減損損失	879	5,700
契約損失引当金繰入額	1,140	—
その他	550	554
特別損失合計	2,602	6,256
税金等調整前四半期純利益	11,385	15,749
法人税等	1,788	3,523
四半期純利益	9,597	12,225
非支配株主に帰属する四半期純利益	455	541
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,141	11,684

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	9,597	12,225
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,892	1,362
繰延ヘッジ損益	△1,714	42
為替換算調整勘定	△1,133	1,932
退職給付に係る調整額	△534	△557
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,222	△8,068
その他の包括利益合計	△11,498	△5,288
四半期包括利益	△1,900	6,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,284	6,187
非支配株主に係る四半期包括利益	383	749

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	一般貨物輸送事業			不定期 専用船 事業	その他事業		計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	定期船 事業	航空運送 事業	物流事業		不動産業	その他の 事業			
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	50,519	16,384	117,239	195,079	1,682	25,497	406,402	-	406,402
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,417	1,354	556	59	188	14,203	17,779	△17,779	-
計	51,936	17,738	117,795	195,139	1,870	39,701	424,181	△17,779	406,402
セグメント利益 又は損失(△)	1,916	△4,463	△13	9,203	758	775	8,177	△1,761	6,415

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高に係る調整15百万円、全社費用△1,777百万円です。なお、全社費用は、特定のセグメントに帰属しない一般管理費及び営業外費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	一般貨物輸送事業			不定期 専用船 事業	その他事業		計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	定期船 事業	航空運送 事業	物流事業		不動産業	その他の 事業			
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	38,341	26,936	112,569	164,752	1,643	16,926	361,170	-	361,170
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	840	1,933	381	97	137	10,449	13,838	△13,838	-
計	39,182	28,869	112,950	164,849	1,781	27,375	375,009	△13,838	361,170
セグメント利益 又は損失(△)	6,712	9,377	2,780	△1,171	705	△444	17,960	△1,369	16,591

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高に係る調整16百万円、全社費用△1,385百万円です。なお、全社費用は、特定のセグメントに帰属しない一般管理費及び営業外費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

3. その他の情報

(1) 四半期毎の業績の推移

2021年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日	自 2020年10月1日 至 2020年12月31日	自 2021年1月1日 至 2021年3月31日
売上高	百万円 361,170	百万円	百万円	百万円
営業損益	8,947			
経常損益	16,591			
親会社株主に帰属する 四半期純損益	11,684			
総資産	1,882,678			
純資産	502,347			

2020年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日
売上高	百万円 406,402	百万円 418,334	百万円 428,522	百万円 415,096
営業損益	5,470	10,366	16,633	6,226
経常損益	6,415	9,604	22,466	6,000
親会社株主に帰属する 四半期純損益	9,141	1,982	7,615	12,390
総資産	2,050,150	2,036,653	2,047,906	1,933,264
純資産	515,910	505,028	515,266	498,839

(注) 上記各四半期毎の業績(売上高・営業損益・経常損益・親会社株主に帰属する四半期純損益)は、第1四半期連結累計期間、6ヶ月間累計(第2四半期連結累計期間)、9ヶ月間累計(第3四半期連結累計期間)、12ヶ月間累計(通期)の各数値をベースとして差し引きすることにより算出しています。

(2) 為替情報

	前第1四半期 (2019年6月期)	当第1四半期 (2020年6月期)	差額	前期 (2020年3月期)
期中平均レート	110.73円/US\$	107.74円/US\$	2.99円 円高	109.13円/US\$
期末レート	107.79円/US\$	107.74円/US\$	0.05円 円高	108.83円/US\$

(3) 有利子負債残高

(単位: 百万円)

	前期 (2020年3月期)	当第1四半期 (2020年6月期)	増減
借入金	778,909	784,926	6,016
社債	152,000	152,000	—
コマースナル・ペーパー	19,000	3,000	△16,000
リース債務	99,944	96,833	△3,110
合計	1,049,853	1,036,759	△13,094